



As-me ESTELLE

第54期（2012年3月期） 第2四半期決算説明会 資料

2011年12月8日

証券コード:7872 JASDAQ

As-me エステール株式会社





目次

I. はじめに	・・・ 2
II. 2012年3月期 第2四半期決算概要	・・・ 5



1. はじめに

1. 基本方針
2. 基本方針を踏まえた現在の取り組み

1 基本方針

顧客満足度の向上

収益力アップ

SPA（企画製造販売）

製造ノウハウ
（エステル）

+

小売ノウハウ
（あずみ）

1. 営業シナジーの追求
2. コストシナジーの追求
3. 財務力強化

2 基本方針を踏まえた現在の取り組み

1. 営業力の強化

- スクラップアンドビルドによる店舗効率の向上
- 一店舗あたりの売上増加

2. 収益力の向上

- SPA機能の発揮による原価低減と新製品開発
- 営業利益率の一段の向上

3. 教育の徹底

- チェーンオペレーションのマニュアル化
- コンプライアンス意識の継続的な徹底



II . 2012年3月期 第2四半期決算概要

1. 第2四半期決算ハイライト
2. 第2四半期決算サマリー
3. 損益の状況
4. 利益率の状況
5. 財政状態
6. 財務の改善状況
7. 連結キャッシュ・フローの状況
8. セグメント別売上高
9. 店舗展開状況
10. 通期業績見通し

1 第2四半期決算ハイライト

(単位:百万円)

	2010/9 (前第2四半期)	2011/9 (当第2四半期)	前年同期比 増加率	2011/3 (前期)
売上高	13,360	13,546	1.4%	27,067
営業利益	431	861	99.4%	1,303
経常利益	497	877	76.3%	1,340
四半期(当期)純利益	135	297	119.1%	647

2 第2四半期決算サマリー

東日本大震災直後にもかかわらず、東北、関東地区でも既存店売上が前年を上回るなど、売上は堅調推移。経費削減効果も加わり、増収増益。

- 売上高は前年同期比1.4%。売上高総利益率は0.9ポイント向上。
売上総利益 同2億33百万円増加。
- 販管費は同1億96百万円減少し、営業利益は8億61百万円計上。
- 経常損益は同3億80百万円増加し、8億77百万円計上。
純利益は同1億62百万円増加し、2億97百万円計上。
- 財務面では経済環境に鑑み手許流動性水準に留意。現預金は前年同期末比9億50百万円増加。借入金・社債は同7億38百万円減少、ネット借入金は同16億88百万円減少。

(ネット借入金:借入金+社債-現預金)

3 損益の状況

(単位:百万円)

	2010/9 (前第2四半期)	2011/9 (当第2四半期)	2011/3 (前期)
売上高	13,360	13,546	27,067
売上原価	5,191	5,144	10,386
売上総利益	8,168	8,401	16,681
販売管理費	7,736	7,540	15,377
営業利益	431	861	1,303
営業外損益	65	16	36
経常利益	497	877	1,340
特別損益	△182	△292	△328
四半期(当期)純利益	135	297	647

【主な損益変動要因】

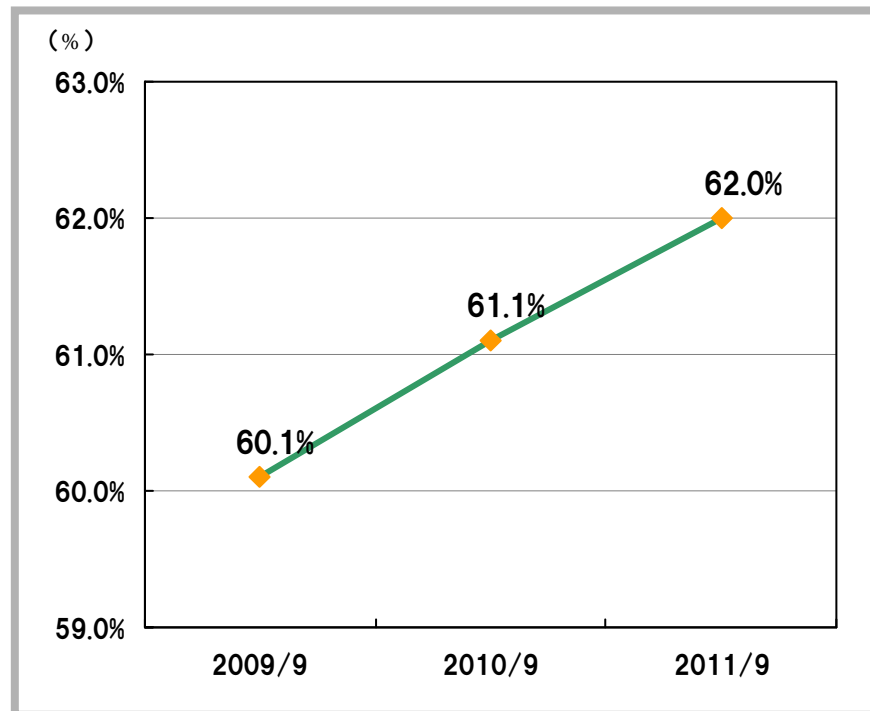
売上は東北、関東などの地域でも既存店売上が前年比を上回るなど堅調に推移。前年同期比1.4%増となった。粗利率は0.9ポイント向上し、売上総利益は2億33百万円増加した。

販売管理費は、売上増に伴う販売促進費等が若干の増加をみたものの、経費全般にわたる圧縮に努め、前年同期比1億96百万円の減少となった。主な減少費目は人件費が同1億1百万円減少、支払家賃が同63百万円減少したほか、その他の費目も総じて減少。営業利益は前年同期比4億30百万円増加し、8億61百万円となった。

経常利益は、有利子負債圧縮にともない支払利息が前年同期比33百万円減少したものの、海外子会社で発生した為替差損が増加したため、前年比3億80百万円増となり8億77百万円計上。四半期純利益は、減損損失の増加と法人税等の増加により前年同期比1億61百万円増加し、2億97百万円となった。

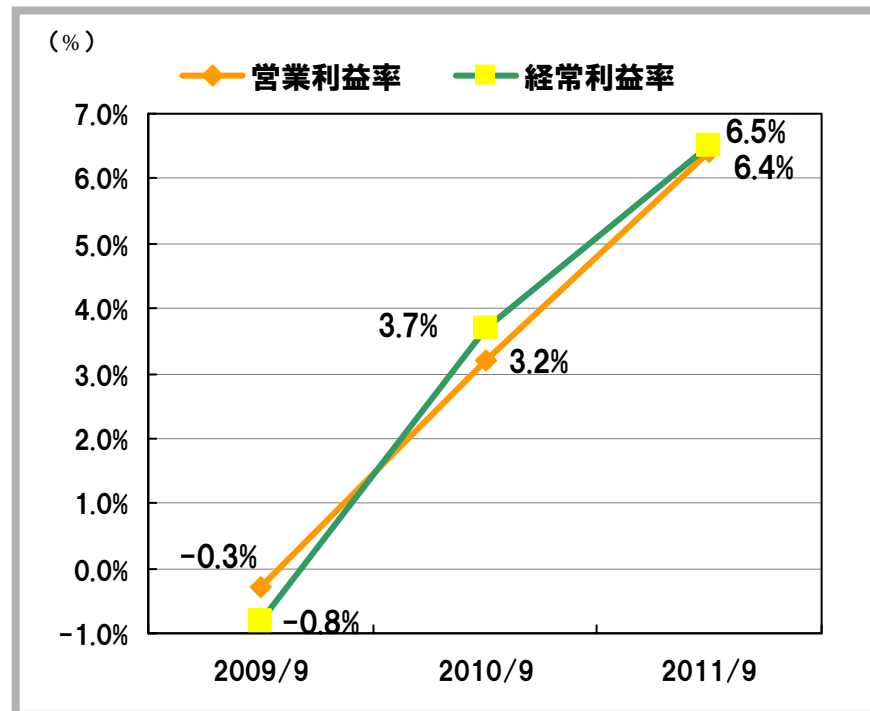
4 利益率の状況

■売上高総利益率の推移



売上総利益率は前年同期比0.9ポイント上昇し、着実に改善。売上高の増加に加え、販売価格の維持に努めた効果。

■売上高営業利益率・売上高経常利益率



営業利益率、経常利益率も引き続き改善傾向。売上高総利益率の改善に加え、販売費及び一般管理費の削減効果に伴うもの。

5 財政状態

(単位:百万円)

	2010/9 (前第2四半期)	2011/9 (当第2四半期)	2011/3 (前期)
流動資産	18,861	19,448	19,162
固定資産	11,736	10,686	10,978
資産合計	30,598	30,135	30,141
流動負債	11,612	10,980	10,926
固定負債	10,020	9,628	9,690
負債合計	21,632	20,608	20,617
株主資本合計	8,820	9,431	9,312
その他包括利益累計額	145	95	210
純資産合計	8,965	9,526	9,523
負債純資産合計	30,598	30,135	30,141

【主な財政状態の変動要因】

流動資産は、棚卸資産が前年同期比3億76百万円減少したが、現預金が同9億50百万円増加したことなどから、同5億87百万円増加した。

固定資産は、敷金保証金が同4億55百万円減少したほか、土地売却などから同10億50百万円減少した。

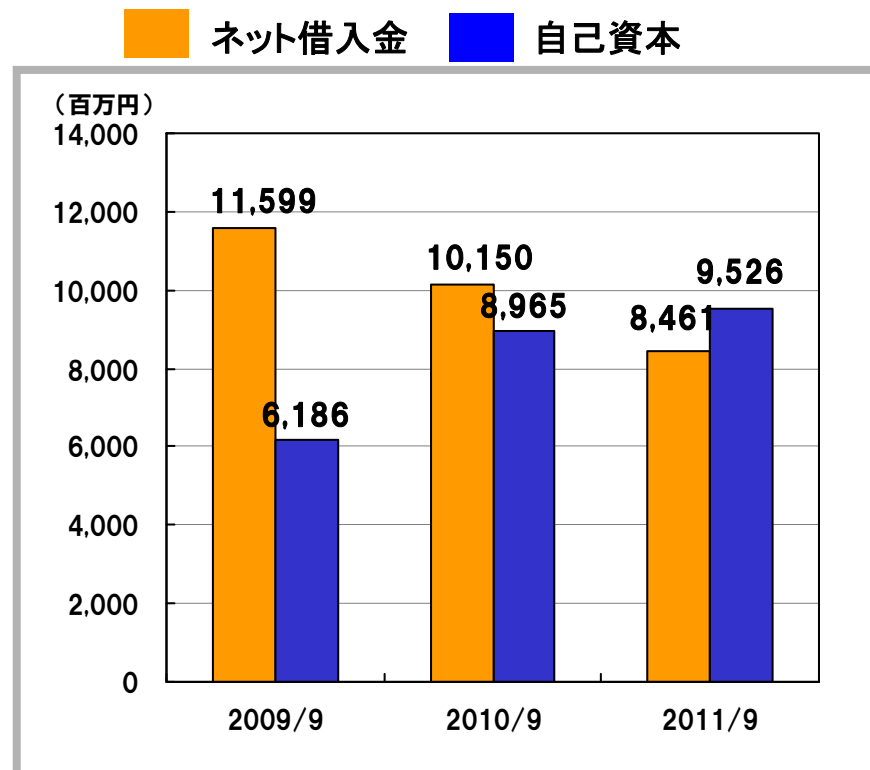
総資産は、同4億62百万円の減少となった。

負債合計は、主に借入金・社債の同7億37百万円の減少により10億23百万円減少した。

株主資本は、同6億11百万円増加した。主に利益剰余金の増加6億30万円による。

6 財務の改善状況

■ ネット借入金と自己資本の推移



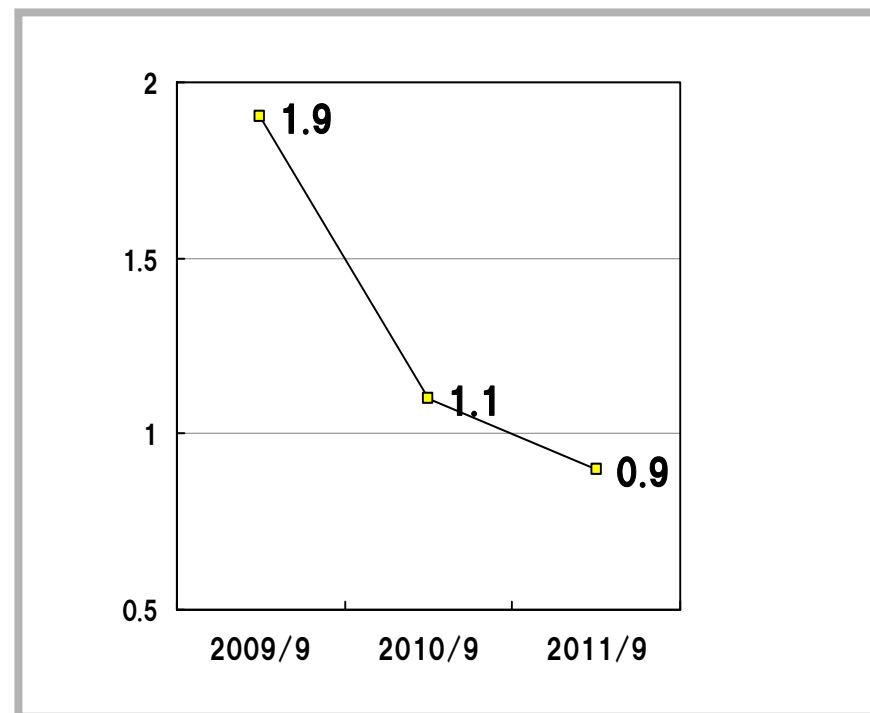
借入金は着実に減少。現預金を控除したネットの借入金も80億円台に。

(ネット借入金 = 借入金 + 社債 - 現預金)

(自己資本 = 株主資本 + その他の包括利益累計額)

■ ネットDEレシオの推移

ネットDEレシオ = (借入金 + 社債 - 現預金) ÷ 自己資本



借入金の減少、自己資本の増加を受け、DEレシオも低下続く。ネット借入金ベースでは1を割り込む。

7 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2010/9 (前第2四半期)	2011/9 (当第2四半期)	2011/3 (前期)
営業活動による キャッシュ・フロー	767	549	2,304
投資活動による キャッシュ・フロー	△41	△308	170
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,144	△123	△2,057
現金及び現金同等物の 増減額	△419	115	415
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	3,040	3,990	3,874

【主なキャッシュ・フローの内容】

【営業活動CF】

5億49百万円のプラス。
(主な内訳)税金等調整前純利益5億86百万円、
に加え、減価償却および減損損失4億50百万円
などの収入。売上債権の増加2億69百万円、法人
税等の支払1億67百万円の支出など。

【投資活動CF】

3億8百万円のマイナス
(主な内訳)敷金保証金の回収3億20百万円の収
入。固定資産の取得3億55百万円、敷金保証金
の差入1億28百万円支出など。

【財務活動CF】

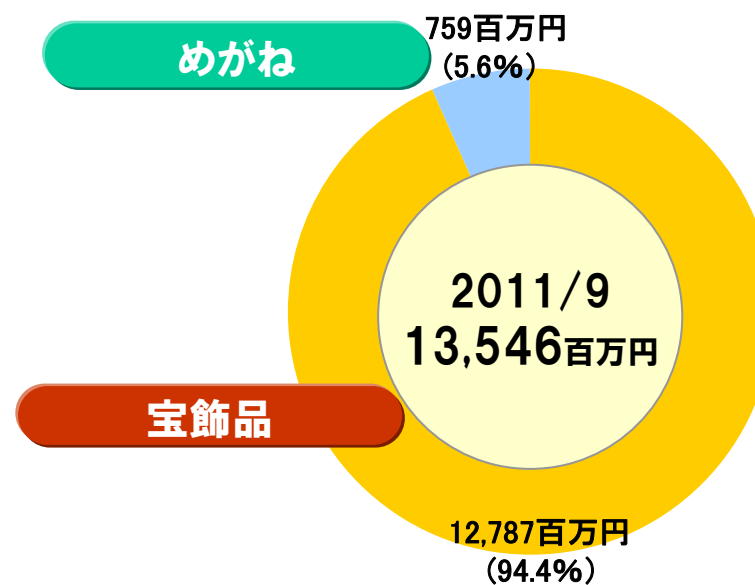
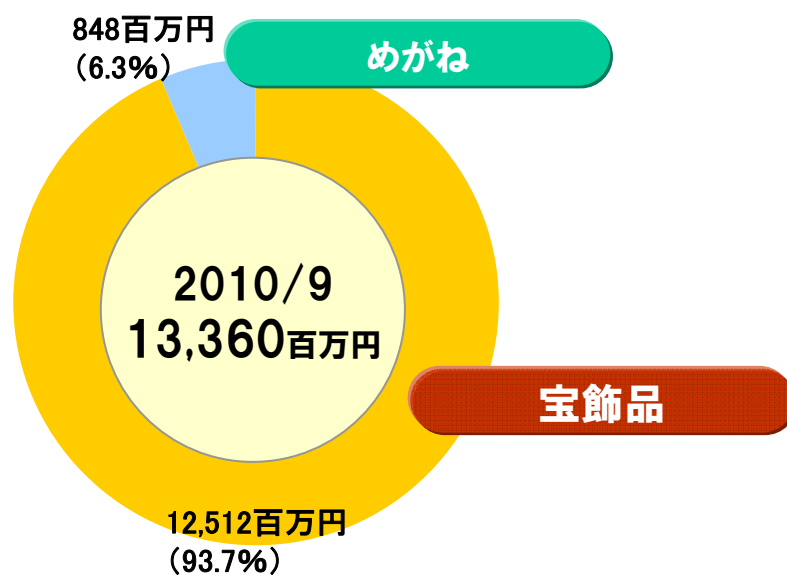
1億23百万円のマイナス
(主な内訳)配当支払1億78百万円の支出。

以上から、現金及び現金同等物の残高は39億90
百万円と、前期末と概ね同水準となった。

8 セグメント別売上高

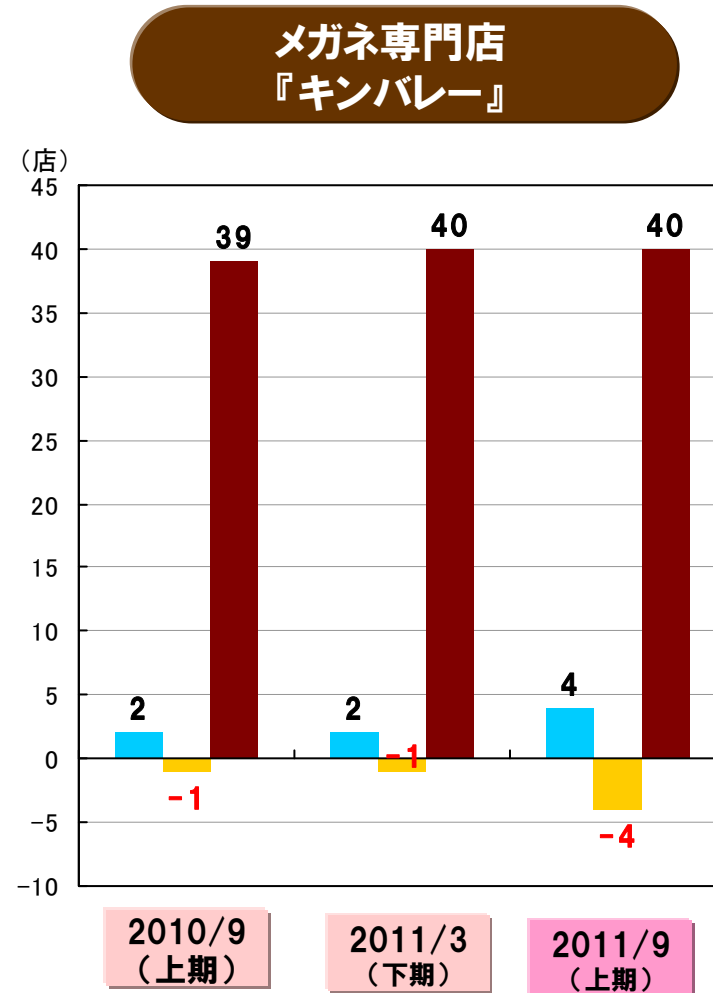
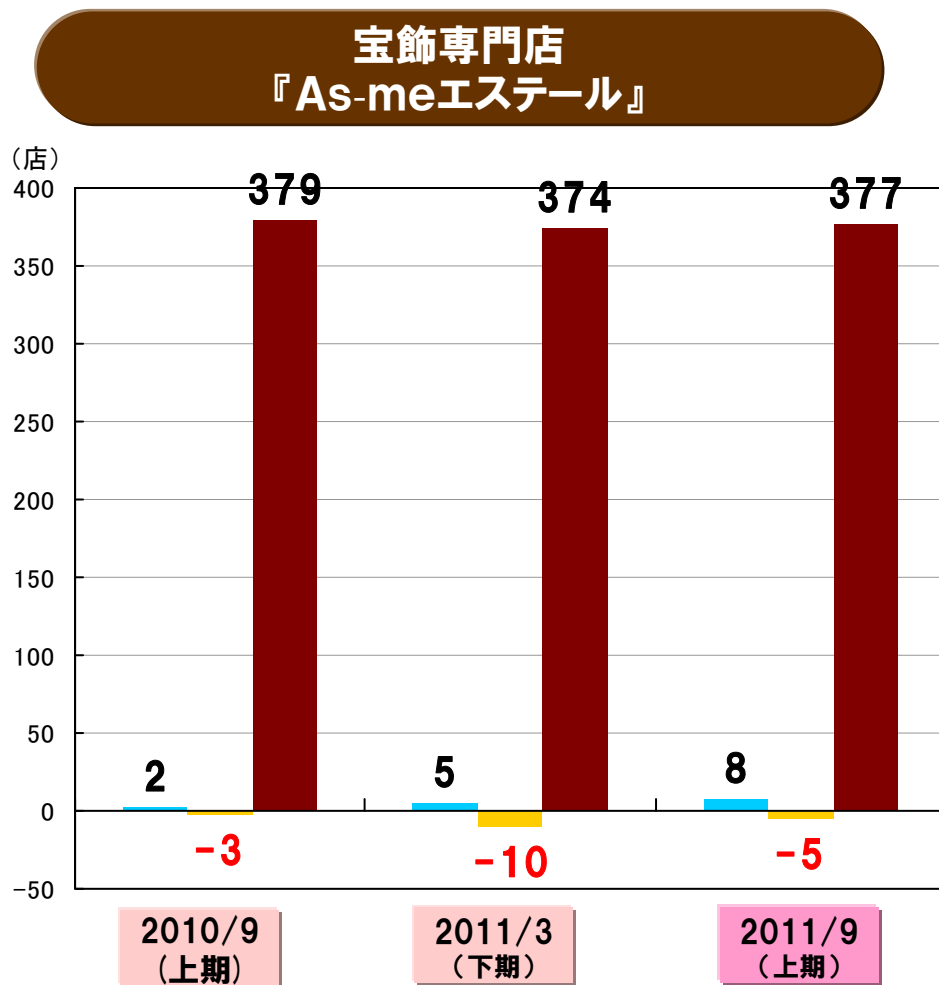
(単位:百万円)

	2010/9 (前第2四半期)		2011/9 (当第2四半期)	
宝飾品	12,512	93.7%	12,787	94.4%
めがね	848	6.3%	759	5.6%
売上高合計	13,360	100.0%	13,546	100.0%



9 店舗展開状況

■ 出店 ■ 退店 ■ 期末店舗数



10 通期業績見通し(連結)

(単位:百万円)

	2011/3	2012/3 (予想)	前期比
売上高	27,067	27,463	1.5%
営業利益	1,303	1,645	26.2%
経常利益	1,340	1,867	39.3%
当期純利益	647	1,001	54.6%



第2四半期累計は計画を上回りましたが、今後の消費動向等の経営環境が不透明な為、5月13日公表の業績予想を変更していません。

(参考)合併時作成の**中期経営計画**(2011/3期～2013/3期)

(単位:百万円)

2009/11公表	2011/3期計画	2012/3期計画	2013/3期計画
売上高	27,303	28,108	28,937
営業利益	1,077	1,575	2,092
経常利益	1,155	1,686	2,197
当期純利益	554	869	1,160

【お問い合わせ先】

As-me エステール株式会社

総務部

TEL : 03-5777-5120

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転載などを行われぬようお願い致します。